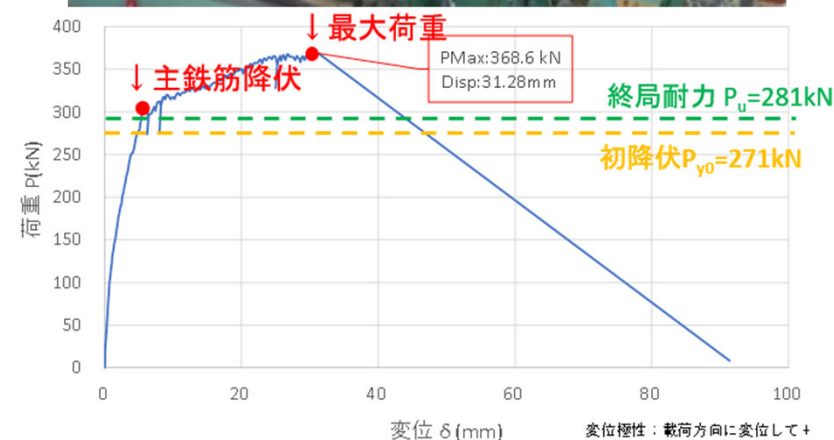
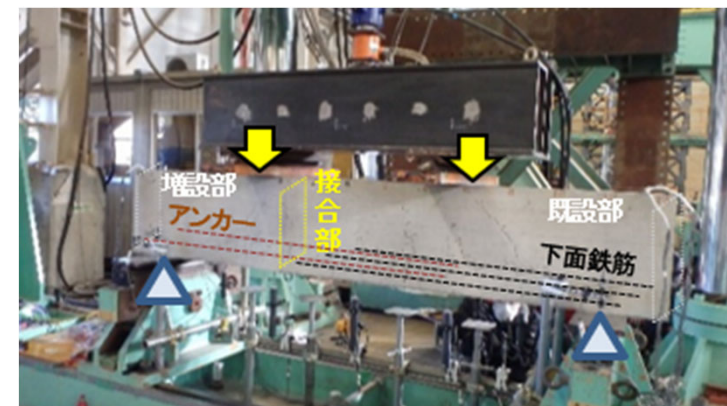


達成目標① 巨大地震に対する構造物の被害最小化技術・早期復旧技術の開発

○ 地盤・基礎を含めた橋全体系の耐震性能評価技術及び耐震補強技術に関する研究 (補強技術)

【課題】 既設道路橋基礎の耐震補強について、既設部と補強部の一体化や荷重分担等に関する合理的な評価手法、設計法の検討が必要。

- 【成果】**
- H28熊本地震等の被災事例を調査分析し、地震に対して脆弱な条件を整理【H28】
 - 基礎の補強方法の文献調査等を実施し、課題や合理化の必要性を明確化【H29】
 - 既設杭基礎の補強方法として、接触構造の増し杭工法を提案。構築した解析モデルで解析して有効性を検証【H30-R1】
 - 接触構造の増し杭工法の補強効果を確認するために模型実験を実施【R2】
 - 新旧フーチング接合部の施工の合理化を検討するため、曲げ試験を実施【R3】



曲げ試験の試験結果(荷重-変位関係)

成果・実装

- 既設杭基礎の耐震補強方法として、増し杭工法の新工法(接触構造)及び施工合理化工法(アンカー)を提案。